

和倉小だより



8月号②

七尾市立和倉小学校

TEL 62-2070

FAX 62-2082

文責：佐野

「わくらっ子の日本一をアップデート！」 **進取 協働 貢献**

学校ホームページ <http://www.city.nanao.lg.jp/wakurasho/>

学校メールアドレス wakurasho@edu.city.nanao.ishikawa.jp

< 保護者の皆様からのコメントの続き (⇒学校からの回答) >

・我が子のクラスはパワフルな子が多いらしく、時に大変な時がある、と伺っております。クラスのマネジメントと言っても子どもは大人と違って難しい事もあるかと思っております。家庭で必要な指導があれば積極的に行いますので何なりと共有くださいませ。

(⇒児童は、相手の気持ちを考えずに発した言葉からトラブルになることがあります。学年を問わず、思いやりのある言葉や行動について考える指導を強化していきます。良好な人間関係や居心地のよい環境づくり等、発達段階に応じた支持的な指導を学校全体で行ってまいります。学校と家庭が連携して大人も子どもも「言葉の力」を大切に考え、全学級の児童のよりよい成長を願いたいものです。

・和倉小学校の先生方は、地震に負けず創意工夫しながら、子ども達の為に懸命に教育を行っていると感じられます。大変かと思いますが保護者らPTAとも連携して、子ども達にとって良い学校生活になるよう協力は惜しみませんので引き続き宜しくお願い致します。

(⇒温かいお言葉をありがとうございます。皆様に励まされ、未来を切り拓く和倉っ子のために、また和倉の地域のために、2学期もより創意工夫ある教育活動を行っていきたく思います。今後ともPTAと地域の皆様とが一体となり、社会に開かれた学校として、本校の児童のために全教職員一丸となって教育活動に邁進したいと考えています。)

・先日、地震に伴う引き渡し訓練を実施しましたが、学校は避難場所になるので全員を引き渡すのは現実的な訓練なのか疑問を抱いた。車等での引き渡しでは避難者と引き渡し保護者とで学校の入り口が混雑し対応ができないと考えられる。震災を教訓に訓練内容の見直しをはいかがでしょうか？

(⇒今年度の引き渡しの方法については、能登半島地震の経験を踏まえて、昨年度と大きく見直しをしました。今回は、体育館が避難所となって使用できなかったこと。学校のインターネットの回線が使用不可となり学校のパソコンの使用できなかったこと等から、計画を大幅に改善しました。ご意見のように、道路の亀裂や破損の状況からして、車での通行や迎えは困難なことも想定内であると思います。また、車の混雑対策として、通行ルートは一方通行にして、玄関前の混雑や渋滞を回避できるようにしましたが、場合によっては徒歩での迎えになることもあります。さらに、職場からの迎えが難しく、児童を学校にしばらく留めておくことも想定されます。その時その時の臨機応変な対応力が求められることでしょうか。どんな困難な場合でも命を優先し、安全第一で保護者の皆様に引き渡しができますように、教職員が総力で役割分担をして対応させていただきました。学校敷地内で避難者とのゾーンを分けることや、引き渡しの際の動線を工夫すること等の課題が多々ありますが、ぜひ皆様のご意見をお聴きし、今後の見直しにいかしていきたいと思っております。)

書籍の寄贈を
ありがとうございました！

芝垣順様 (尼崎市) より
(4万円分の書籍の寄贈)

図書室にコーナーを
設置し、読むことができ
るようにしてあります。



守世志子様 (民生委員・児童委員) より
(子ども食堂「きらめきハッピー」)

戦争の体験談から学ぶ

8月6日(火)の全校登校日に、和倉地区にお住まいの石川芳子さん、中田たけさんをお迎えして、オンライン集会をしました。図書室には、6年生が集合し、1~5年生は各教室でテレビ画面からの参加でした。

お二人は、戦時中の小学生の頃の体験を思い出してお話をしてくださいました。当時の生活は、今の時代と大きく異なっていました。

B29の飛行機が飛んで来ると防空壕に身を隠すという怖い毎日で、食べ物も満足できるものではなく、お米に芋を混ぜて炊いて食べていたことなどを教えてくださいました。



< 児童の感想 >

- たくさんのいのちをうしなっかわいそう。わけは、ははがいなくなったら、ごはんがたべられないからです。(1年 多田光杏)
- わたしは、へいわのためにたのしいことをいっぱいしていきたいなと思いました。これからは、もっといろいろなことを大切にしていきます。(2年 福嶋咲良)
- わたしは、今みたいな安全な時間がどれほどきちょうかということが知れてうれしかったです。今みたいに安全な時間が少しでも長くなることを願っています。(3年 松田柚紀)
- 戦争を起こさないためには、人々が周りのみんなにやさしくすればいいと思いました。(3年 野宮志月)
- ぼくたちが今住んでいる日本は、今と昔では全く違うということが分かって驚きました。これから戦争を起こさないように自分たちができることは、仲良くケンカなしで過ごせばいいと思いました。(4年 後藤良太)
- 戦争をしている時は、いつ爆弾が落ちてくるかわからないから、遊んでいるときでも防空頭巾を腰にかけているのが暑くて大変だなと思いました。そして、今、いい環境で幸せに過ごしているのは当たり前じゃないと聞いて、今過ごせている環境に感謝しながら過ごしていきたいです。(5年 帽子山莉那)
- 今、自分ができることを当たり前と思わずに、朝昼晩おいしいご飯を食われていることと友達と遊んでいることなど、すべてに感謝して生きていたいなと思いました。(6年 保科咲來)



★和倉っ子の活躍★

おめでとうございます!!

★第40回梶尾杯争奪ジュニアバドミントン大会 小学6年生 男子 優勝 6年 山田 和功

Let's call..オアシスライン

~親と子のなんでも電話相談室~
TEL 0767-52-0783
受付時間: 13:00~16:00(月曜~金曜)
相談内容: 悩んでいること、困っていること
*匿名でのお電話で構いません。秘密は守ります
~オアシスライン担当~

